

.....

.....

.....

1

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者 A	年齢[35]歳、 勤続年数[9]年、 現場経験年数[9] 年、 階級[消防士長]、 同様の活動 [頻繁]、 任務 [機関員]
○当事者 B	年齢[]歳、 勤続年数[]年、 現場経験年数[]年、 階級[]、 同様の活動 []、 任務 []
○当事者 C	年齢[]歳、 勤続年数[]年、 現場経験年数[]年、 階級[]、 同様の活動 []、 任務 []
その他 (当事者が 4 人以上の場合)	

11. 事例発生経過。

.....

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過 1	救急車両	病院搬送する為に国道 17 号上り線走行中	片側 2 車線の中央よりを走行
経過 2	並走車両 A	救急車接近の為、交差点手前より減速	片側 2 車線の歩道側を走行
経過 3	並走車両 B	減速した並走車両 A を交差点内にも関わらず追い越しをかける	
経過 4	救急車両	左側より異常接近する車両を確認し、接触を避けるために急制動	
経過 5	並走車両 B	救急車側面に突っ込みそうになるも回避、急激にスピードを上げて走り去る	
経過 6	救急車両	隊長に口頭で顛末を報告、急制動による負傷者が無いために搬送を継続する	
経過 7			
経過 8			
経過 9			
経過 10			

【その事例発生時の状況について】

○事故の場合 ：事故が起きたのはどうしてだと思うか？

ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

危険情報を把握、予見できた。集中力、注意力があった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用 방법이誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

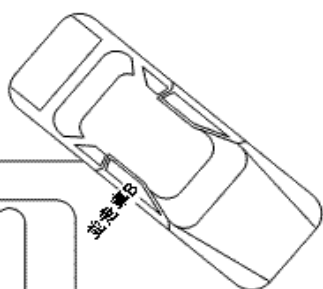
○その他

l. その他の理由があった。

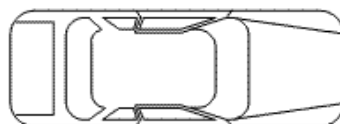
はい：救急車が並走しているのにも気が付かず、交差点内は追い越し禁止にも関わらず進路変更、追越を掛けて来た並走車両 B の一方的な過失。並走中より怪しげな動きをしているので、ヒヤリハット以前より気にかけて運転していた。	
--	--



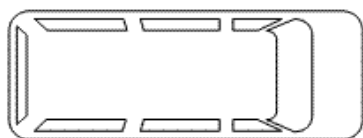
上尾市役所



車B



並走車A



救急車両